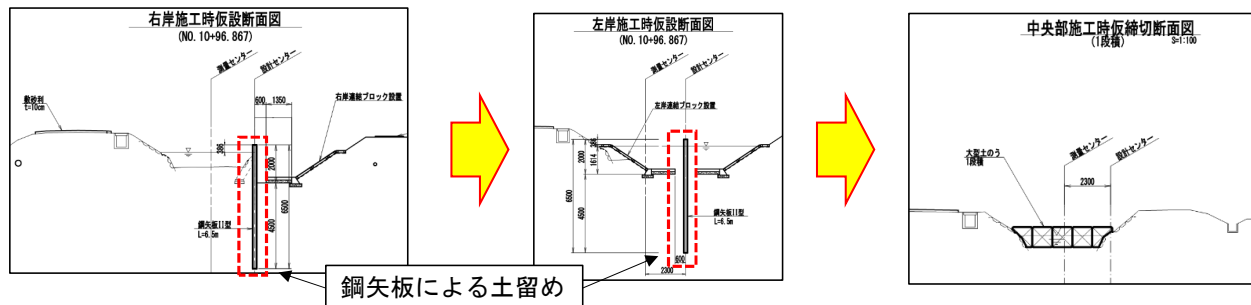


# (参考) 工法変更の主な内容

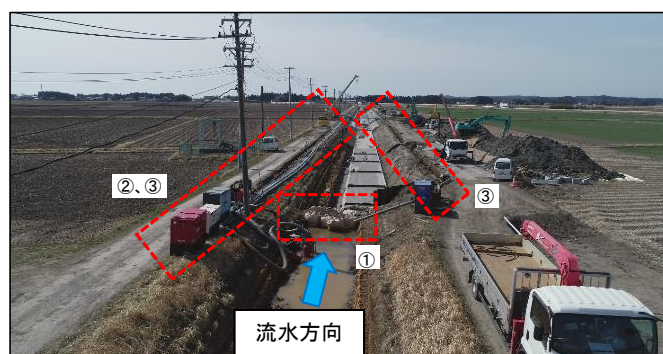
## ② 笥堀排水路の施工方法の変更

震災復興のピーク時であり、鋼矢板の在庫が宮城県内になく、北海道・関東・北陸から調達するも現地搬入が遅延し、来春の営農時期までに完成しなければならないことから、工程を促進するため、全面締切+両岸ウェルポイント工法に変更した。

### 事業計画時（鋼矢板による土留め、遮水）



### 再評価時（全面締切+両岸ウェルポイント）



- ①排水路を全面的に締め切り。
- ②流下してきた排水は排水ポンプにて下流側へ排水。
- ③両岸にウェルポイントを設置し、地下水を低下させ作業効率アップ。

# 7. 費用対効果分析の基礎となる要因の変化 (基礎資料P23~40)

## (1) 営農計画

宮城県及び関係市町の農業振興計画の基本方針は、近年見直しが行われているものの、引き続き水稻を中心に、水田の畑利用による大豆、大麦等を組み合わせた農業経営を推進する方向性に変わりはない。

| 項目<br>地目名 | 作物名       | 現計画（平成28年） |                         |                | 再評価（令和7年）  |                         |                |
|-----------|-----------|------------|-------------------------|----------------|------------|-------------------------|----------------|
|           |           | 作付面積<br>ha | 単位面積<br>当たり収量<br>kg/10a | 作付け率<br>※<br>% | 作付面積<br>ha | 単位面積<br>当たり収量<br>kg/10a | 作付け率<br>※<br>% |
| 田         | 水稻        | 3,007      | 550                     | 65             | 2,876      | 568                     | 65             |
|           | 加工用米      | 302        | 550                     | 7              | 288        | 568                     | 7              |
|           | 飼料用米      | 181        | 550                     | 4              | 173        | 568                     | 4              |
|           | 大麦        | 189        | 317                     | 4              | 180        | 367                     | 4              |
|           | 大豆        | 770        | 166                     | 17             | 736        | 193                     | 17             |
|           | 青刈りとうもろこし | 94         | 4,644                   | 2              | 90         | 4,150                   | 2              |
|           | ねぎ        | 19         | 1,554                   | 0              | 18         | 1,611                   | 0              |
|           | スイートコーン   | 23         | 691                     | 0              | 22         | 554                     | 0              |
|           | 自己保全管理    | 57         |                         |                | 56         |                         |                |
|           | 計         | 4,642      |                         | 99             | 4,439      |                         | 99             |

※：作付け率は自己保全管理の面積を除いた面積割合を算出（自己保全管理の割合を含めると100%）

## (2) 農業振興計画

国（農林水産省）、宮城県及び関係市町の農業振興計画等が一部改正し、見直しが行われている。近年の情勢変化に対応するために、高収益作物導入、スマート農業の推進等が追加されているが、農業振興の方向性に大きな変化はない。

| 項目    | 現 計 画                       |          | 再 評 価 時 点                   |                        |
|-------|-----------------------------|----------|-----------------------------|------------------------|
|       | 策定機関名                       | 振興計画名    | 策定年度                        | 策定年度                   |
| 農林水産省 | 食料・農業・農村基本計画                | 平成27年8月  | 食料・農業・農村基本計画                | 令和7年4月                 |
| 宮城県   | 宮城の将来ビジョン（2007-2016）        | 平成19年3月  | 新・宮城の将来ビジョン                 | 令和2年12月                |
| 〃     | 宮城県震災復興計画                   | 平成23年10月 | 宮城県震災復興計画                   | 平成23年10月               |
| 〃     | みやぎの農業・農村復興基本計画             | 平成23年10月 | みやぎの農業・農村復興基本計画             | 平成23年10月               |
| 〃     | 農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針        | 平成28年4月  | 農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針        | 令和3年4月<br>(令和5年5月一部改正) |
| 〃     | 宮城県水田フル活用ビジョン               | 平成27年度   | 宮城県水田収益力強化ビジョン              | 令和7年度                  |
| 〃     | 第2期みやぎ農業農村整備基本計画            | 平成23年3月  | 第3期みやぎ農業農村整備基本計画            | 令和3年3月                 |
| 〃     | 宮城県農林水産部<br>農地復興推進室PRパンフレット | 平成26年10月 | 宮城県農林水産部<br>農地復興推進室PRパンフレット | 平成26年10月               |
| 〃     | 営農指導指針                      | 平成24年度   | 令和7年度<br>宮城県水田農業推進方針        | 令和6年12月                |
| 石巻地域  | 石巻地方振興指針                    | 平成26年3月  | 石巻地方振興指針                    | 令和7年4月                 |
| 大崎地域  | 大崎地方振興指針                    | 平成23年10月 | 大崎地方振興指針                    | 令和7年4月                 |

27

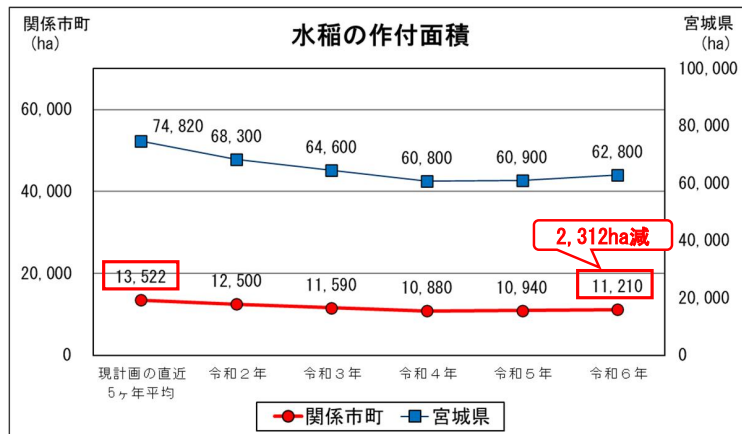
| 項目   | 現 計 画                          |          | 再 評 価 時 点                         |                     |
|------|--------------------------------|----------|-----------------------------------|---------------------|
|      | 策定機関名                          | 振興計画名    | 策定年度                              | 策定年度                |
| 石巻市  | 石巻市震災復興基本計画                    | 平成23年12月 | 石巻市震災復興基本計画<br>復興整備計画(石巻市・宮城県)    | 平成23年12月<br>令和2年1月  |
| 〃    | 石巻市総合計画基本構想（2007年）             | 平成22年3月  | 第2次石巻市総合計画基本構想                    | 令和3年                |
| 〃    | 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想（石巻市H28） | 平成28年11月 | 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想（石巻市H28）    | 平成28年11月            |
| 〃    | 石巻農業再生協議会水田フル活用ビジョン            | 平成26年度   | 石巻農業再生協議会水田収益力強化ビジョン              | 令和7年度               |
| 東松島市 | 東松島市復興まちづくり計画                  | 平成23年12月 | 東松島市復興まちづくり計画<br>復興整備計画(東松島市・宮城県) | 平成23年12月<br>平成31年4月 |
| 〃    | 東松島市総合計画                       | 平成19年3月  | 東松島市第2次総合計画<br>後期基本計画             | 令和3年4月              |
| 〃    | —                              | —        | 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想            | 令和4年3月              |
| 〃    | 東松島地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン         | 平成26年度   | 東松島地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン           | 令和7年度               |
| 涌谷町  | 涌谷町復興まちづくりマスター・プラン             | 平成24年3月  | 涌谷町復興まちづくりマスター・プラン<br>涌谷町災害復旧計画   | 平成24年3月<br>平成23年9月  |
| 〃    | 第4次涌谷町総合計画基本構想                 | 平成18年3月  | 第五次涌谷町総合計画<br>後期基本計画              | 令和4年3月              |
| 〃    | —                              | —        | 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想（涌谷町H28）    | 平成29年3月             |
| 〃    | 涌谷地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン          | 平成26年度   | 涌谷地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン            | 令和7年度               |
| 美里町  | 美里町総合計画                        | 平成19年3月  | 第5次美里町総合振興計画<br>後期基本計画            | 令和3年4月              |
| 〃    | —                              | —        | 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想（案）（美里町）    | 令和3年                |
| 〃    | 美里地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン          | 平成26年度   | 美里地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン            | 令和7年度               |

28

### (3) 農産物等の動向 ①主要作物の作付面積の推移

#### 【水稲】

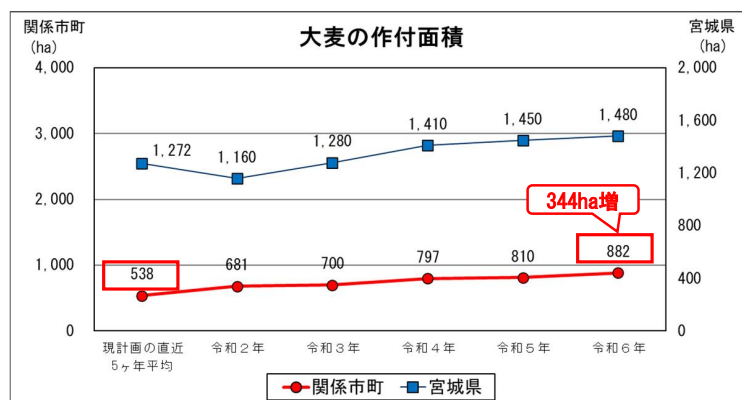
水稲の作付面積は、現計画の直近5ヶ年平均（平成18～22年）から令和4年にかけて減少傾向であったが、令和5年以降は増加傾向である。



作付面積（水稲）の推移

#### 【大麦】

大麦の作付面積は、現計画の直近5ヶ年平均（平成18～22年）から令和6年にかけて増加傾向である。

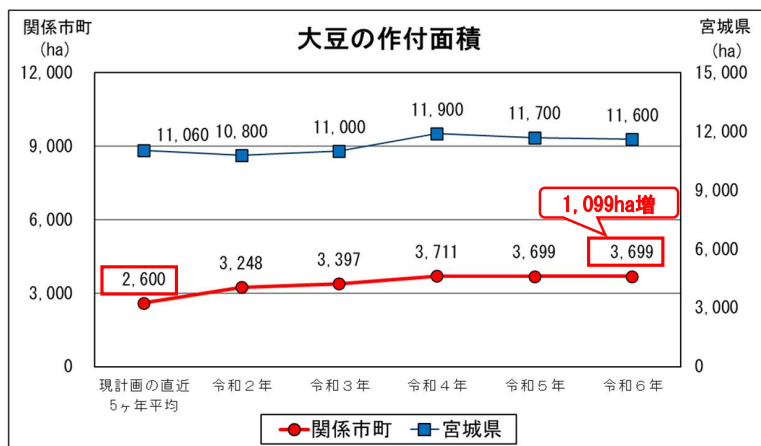


作付面積（大麦）の推移

出典：作物統計

#### 【大豆】

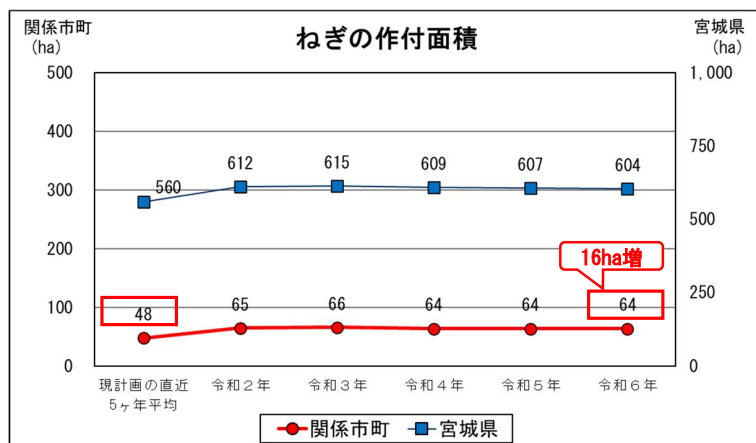
大豆の作付面積は、現計画の直近5ヶ年平均（平成18～22年）から令和6年にかけて増加傾向である。



主要作物（大豆）の推移

#### 【野菜類(ねぎ)】

ねぎの作付面積は、現計画の直近5ヶ年平均（平成18～22年）から令和元年にかけて増加傾向であり、直近5ヶ年は横ばい傾向である。



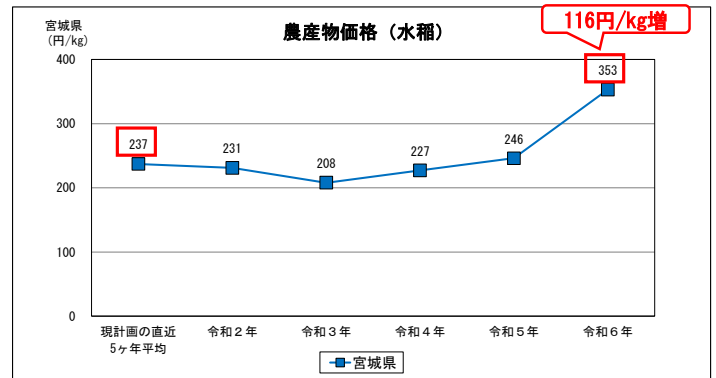
主要作物（ねぎ）の推移

出典：作物統計

## ②主要作物の作物単価の推移

### 【水稲】

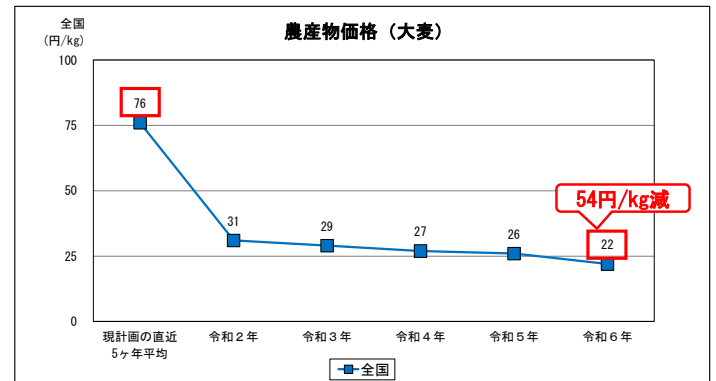
水稲の価格は、現計画の直近5か年平均令和3年にかけて減少傾向であったが、令和4年以降は増加傾向である。



出典：米の相対取引価格（農林水産省）宮城県

### 【大麦】

大麦の価格は、現計画の直近5か年平均から令和6年にかけて減少傾向にある。

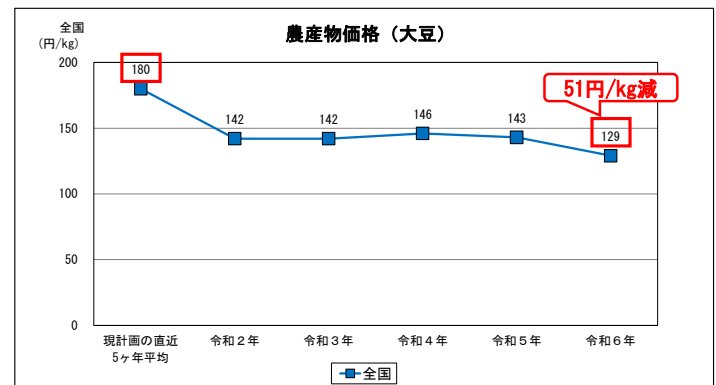


出典：農作物価統計（全国）

31

### 【大豆】

大豆の価格は、現計画の直近5か年平均からは減少しており、令和元年から令和4年にかけて横ばい傾向にあったものの、それ以降は減少傾向にある。

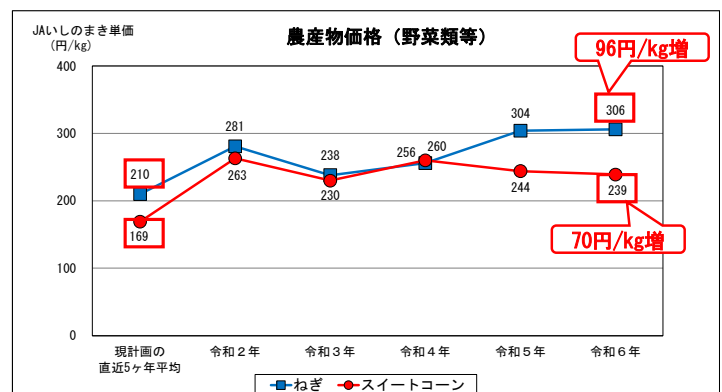


出典：農作物価統計（全国）

### 【野菜類等】

ねぎの価格は、現計画の直近5か年平均からは増加傾向にある。

スイートコーンの価格は、現計画の5か年平均から増加しているものの、直近5か年は横ばい傾向である。



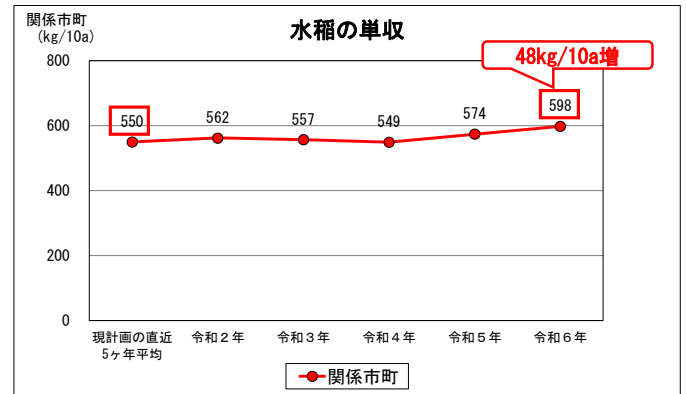
出典：JALのまき

32

### ③主要作物の作物単収の推移

#### 【水稲】

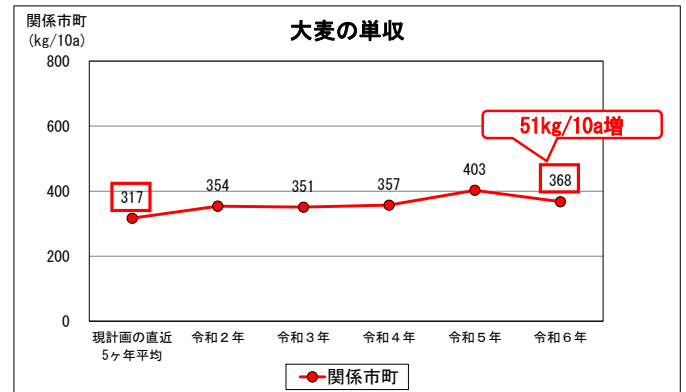
水稲の単収は、現計画の直近5ヶ年平均550kg/10aから令和6年の598kg/10aへと48kg/10a（8.7ポイント）増加している。直近5か年の推移に着目すると、令和2年から令和4年にかけて横ばい傾向であったが、令和5年以降は増加傾向である。



出典: 作物統計

#### 【大麦】

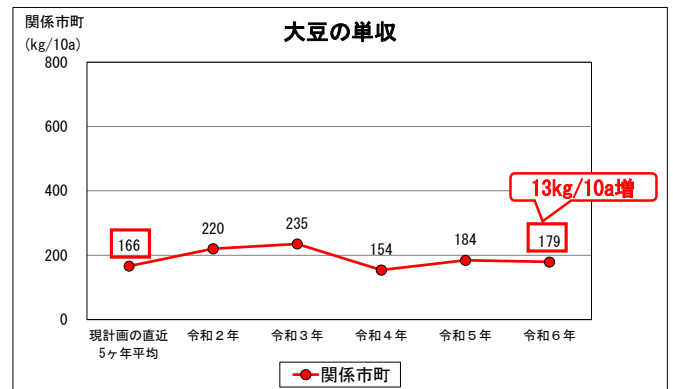
大麦の単収は、現計画の直近5ヶ年平均317kg/10aから令和6年の368kg/10aへと51kg/10a（16.1ポイント）増加しているものの、令和元年から令和5年にかけて横ばい傾向である。



出典: 作物統計

#### 【大豆】

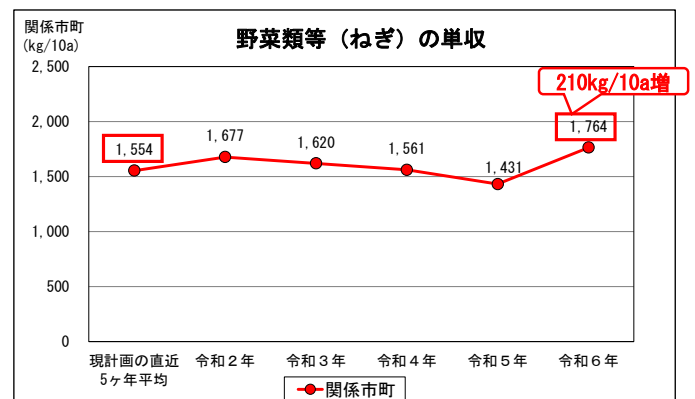
大豆の単収は、現計画の直近5ヶ年平均166kg/10aから令和6年の179kg/10aへと13kg/10a（7.8ポイント）増加している。直近5か年に着目すると、令和2年から令和3年にかけて増加傾向であったが、それ以降は減少傾向にある。



出典: 作物統計

#### 【野菜類（ねぎ）】

ねぎの単収は、現計画の直近5ヶ年平均1,554kg/10aから令和6年の1,764kg/10aへと210kg/10a（13.5ポイント）増加しているものの、直近5か年では年次によって増減はあるものの横ばい傾向にある。



出典: 作物統計

# 8. 費用対効果分析の結果

(基礎資料P41~42)

直近の統計資料に基づく作物単価・単収の更新、評価基準年の更新（現在価値化）等を反映し、国産農産物安定供給効果を追加した上で、費用対効果分析を行った結果は以下のとおりである。

総便益（B） 185,288百万円（現計画：98,605百万円）  
 総費用（C） 164,504百万円（現計画：66,609百万円）  
 総費用総便益比（B/C） 1.12（現計画：1.48）

## (1) 総費用総便益比

単位：千円

| 区分                  | 算定式   | 数値          |
|---------------------|-------|-------------|
| 総費用（現在価値化）          | ①=②+③ | 164,504,394 |
| 当該事業による費用           | ②     | 21,871,153  |
| 関連事業による費用、資産価額、再整備費 | ③     | 142,633,241 |
| 評価期間（当該事業の工事期間+40年） | ④     | 54年         |
| 社会的割引率              |       | 4%          |
| 総便益額（現在価値化）         | ⑤     | 185,288,179 |
| 総費用総便益比             | ⑥=⑤÷① | 1.12        |

当該事業の工事期間：平成28年度～令和11年度（14年間）

## (2) 総費用の総括

単位：千円

| 区分      | 資産価額(事業<br>着工時点)<br>① | 当該事業による<br>費用<br>② | 関連事業による<br>費用<br>③ | 再整備費<br>④  | 資産価額<br>(価期間終了時点)<br>⑤ | 総費用<br>⑥=①+②+<br>③+④-⑤ |
|---------|-----------------------|--------------------|--------------------|------------|------------------------|------------------------|
| 国営造成施設  | 4,517,461             | 16,622,567         | -                  | 8,772,677  | 2,739,570              | 27,173,144             |
| 県営造成施設  | 12,362,959            | 5,248,577          | 85,867,249         | 35,357,339 | 6,048,233              | 132,787,891            |
| その他造成施設 | 667,835               | -                  | -                  | 4,350,481  | 474,957                | 4,543,359              |
| 合計      | 17,548,255            | 21,871,153         | 85,867,249         | 48,480,497 | 9,262,760              | 164,504,394            |

35

## (3) 年総効果額・総便益額の総括

単位：千円

| 効果項目                    | 区分 | 年総効果<br>(便益)額 | 総便益額        | 効果の要因  |
|-------------------------|----|---------------|-------------|--|
| <b>食料の安定供給の確保に関する効果</b> |    |               |             |  |
| 作物生産効果                  |    | 3,269,275     | 108,567,981 | 用排水施設の整備を実施した場合としない場合での作物生産量が増減する効果                |
| 営農経費節減効果                |    | 2,030,566     | 48,785,046  | 用排水施設の整備を実施した場合としない場合での営農経費が増減する効果                 |
| 維持管理費節減効果               |    | △ 144,647     | △ 5,088,218 | 用排水施設の整備を実施した場合としない場合での施設の維持管理費が増減する効果             |
| <b>農村の持続的発展に関する効果</b>   |    |               |             |  |
| 耕作放棄地防止効果               |    | 277           | 6,776       | 区画整理を実施したことにより、耕作放棄の発生が防止され、農産物の生産が維持される効果         |
| 災害防止効果（農業関係資産）          |    | 291,021       | 9,624,290   | 排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での災害による農業関係資産に係る被害額が軽減する効果 |
| <b>農村の振興に関する効果</b>      |    |               |             |  |
| 災害防止効果（一般資産）            |    | 54,157        | 1,831,966   | 排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での災害による一般資産に係る被害額が軽減する効果   |
| <b>多面的機能の発揮に関する効果</b>   |    |               |             |  |
| 災害防止効果（公共資産）            |    | 8,502         | 287,853     | 排水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での災害による公共資産に係る被害額が軽減する効果   |
| <b>その他の効果</b>           |    |               |             |  |
| 災害時の復旧対策費軽減効果           |    | 38,551        | 863,956     | 耐震整備を実施した場合と実施しなかった場合での大規模地震の発生に伴う被害が軽減する効果        |
| 国産農産物安定供給効果             |    | 615,552       | 20,408,529  | 用排水施設の整備により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果 |
| 合計                      |    | 6,163,254     | 185,288,179 |  |

36

## (1) 本地区における環境配慮

本地区では、関係市町の田園環境整備マスタープラン等との整合を図り、本地区の有する生態系や景観との調和に配慮することとしている。

環境配慮計画の策定に当たっては、河南二期地区環境配慮検討部会での協議により地域の有識者からの助言を得て注目すべき生物を選定した。

## (2) 環境配慮基本方針

環境配慮計画の策定に当たっては、河南二期地区環境配慮検討部会での協議により地域の有識者からの助言を得て注目すべき生物を選定した。

| 項目    | 整備方針  |
|-------|---|
| 生態系配慮 | 保全対象生物（ドジョウ、ミナミメダカ、キンブナの3種）の生息・生育環境に配慮するための方策として、移動場所、避難場所となる深みを設置するとともに、施工中に濁水が流出する恐れのある施設は、濁水流出防止対策を行う。 |
| 景観配慮  | 景観に影響を与える各揚排水機場（建屋）を整備する際には、周辺の農村景観との調和に配慮した色彩とする。  |

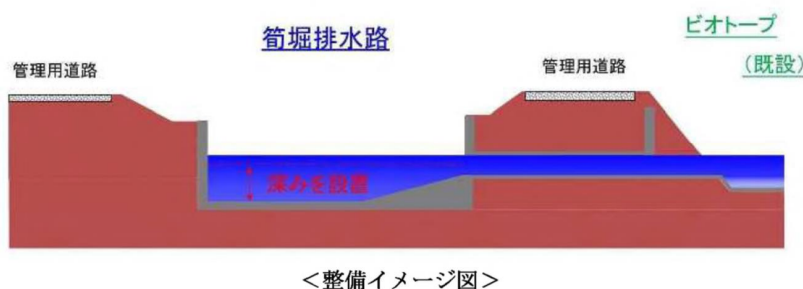
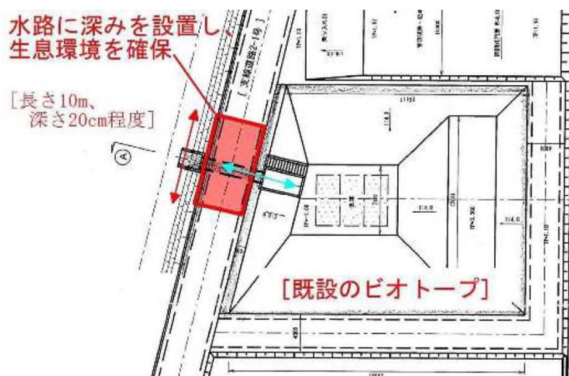
出典：「国営河南二期土地改良事業計画書」、「国営河南二期地区環境配慮計画」

37

## (3) 生態系配慮

排水路の改修に当たり、笥堀排水路の一部（既設ビオトープ内のため池と接続部分）に深みを設置して魚類の生息環境を確保している。

また、令和7年6月に実施したモニタリング調査では、着工前の調査により定めた保全対象生物3種（ドジョウ、ミナミメダカ、キンブナ）のうち、ドジョウ、キンブナの2種の生息が確認された。



整備後の様子（かんがい期）



整備後の様子（非かんがい期）

38

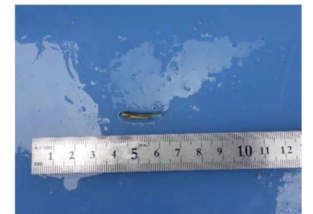
## 《モニタリング調査実施状況》

調査地点：既設ビオトープ内のため池及び筍堀排水路接続付近

調査実施日：令和7年6月5日、6日



調査状況（排水路）



ドジョウ属



キンブナ

調査結果：保全対象生物3種のうち、ドジョウ、キンブナの2種の生息を確認

### 確認種一覧

| No. | 目名  | 科名   | 種名      | 調査箇所 |     |      | 備考    |
|-----|-----|------|---------|------|-----|------|-------|
|     |     |      |         | ため池  | 水路  | 計    |       |
| 1   | コイ  | コイ   | ゲンゴロウブナ | 4    | —   | 4    | 国内移入種 |
| 2   |     |      | キンブナ    | 3    | —   | 3    |       |
| —   |     |      | フナ属     | 3    | 3   | 6    |       |
| 3   |     | ドジョウ | ドジョウ属   | 7    | —   | 7    | 幼体    |
| 4   | ナマズ | ナマズ  | ナマズ     | 2    | —   | 2    |       |
| 計   | 2目  | 3科   | 4種      | 19個体 | 3個体 | 22個体 |       |
|     |     |      |         | 4種   | 1種  |      |       |
|     |     |      |         |      | 4種  |      |       |

## (4) 景観配慮

機場建屋などの景観に影響を与える施設を整備する際には、周辺の農村景観との調和に配慮した色彩とするよう配慮している。

広渚排水機場（改修）



整備前



整備後のイメージ

中区機場（新設）



整備前



整備後

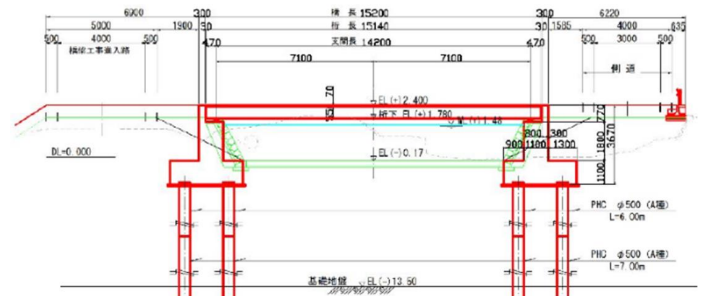
事業着工時から現在に至るまで、事業コストの縮減を次のとおり実施し、約12百万円のコスト縮減を図っている。

## 橋梁形式の比較検討によるコスト縮減

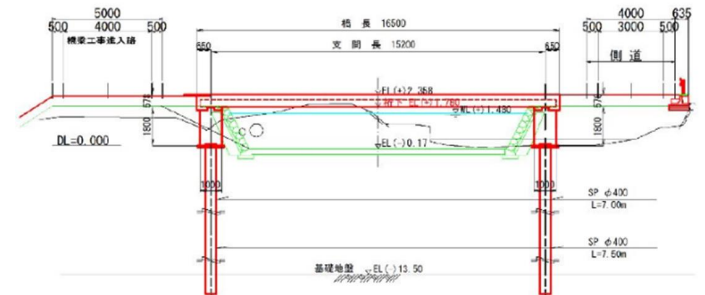
赤井堀排水路の改修に当たり、一般的な上部工・下部工形式の他に、複合門型ラーメン橋やボックスカルバート橋を含む総合的な橋梁形状の検討を行っており、施工性など本地区への適合性が高いボックスカルバート橋を採用したことにより、約12百万円をコスト縮減した。

橋梁形式比較検討結果（3号橋梁工、1橋当たり）

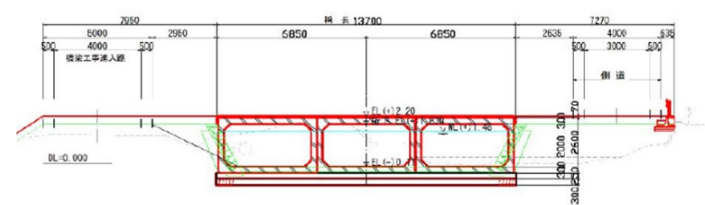
| 項目            | 第1案                     | 第2案           | 第3案        |
|---------------|-------------------------|---------------|------------|
| 工法名           | プレテンション床板橋<br>(上部工・下部工) | 複合門型<br>ラーメン橋 | ボックスカルバート橋 |
| 製作据付費<br>(概算) | 28,100千円                | 39,100千円      | 16,100千円   |
| 採用            |                         |               | ○          |



第1案（プレテンション床板橋）



第2案（複合門型ラーメン橋）



第3案（ボックスカルバート橋）

# 11. その他

## (1) 事業による効果の発現状況

本事業（用水の安定供給・湛水被害の軽減）及び関連事業（震災復興・大区画化）により、水稻の需要に合わせた作付けや転作作物の拡大など、事業目的（農業生産性の維持向上及び農業経営の安定）に掲げている効果が発現している。

### 事業内容と地区内の優良事例

| 事業内容    | 優良事例の内容  |
|---------|--|
| 本事業     |  |
| 用水の安定供給 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水稻を中心とした営農の維持</li> <li>・ 輸出用米の拡大（シンガポール、台湾、アメリカ、ヨーロッパ）</li> </ul> |
| 湛水被害の軽減 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 転作作物（大麦、大豆）の拡大</li> <li>・ たまねぎ等の新たな園芸作物の導入</li> </ul>             |
| 関連事業    |  |
| 震災復興    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業法人の設立支援</li> <li>・ 大型機械の導入支援</li> </ul>                         |
| 大区画化    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農地の集積、集約</li> <li>・ 大型機械（スマート機能付）を使った効率的な営農</li> </ul>            |



JAいしのまきからの米の輸出



収穫されたたまねぎ

※地区内営農者及びJAいしのまきへの聞き取り調査による

## (2) 大規模ほ場整備を活用した大型機械の導入、スマート農業の推進による経営規模拡大の取組

### 農事組合法人たてファーム・和

経営体の概要（令和7年度現在）

構成員：12名 雇用：常勤1名、臨時雇用10名 経営面積：92ha  
主要作物：水稲42ha、大豆48ha、大麦11ha

取組のポイント

#### ①大型機械導入による省力化と栽培技術の確立

ほ場整備による大区画化と地下水水位制御システムの導入により大型機械の導入、水稲の乾田直播栽培の取り組みにより、生産コストの低減を図っている。大豆は、全国で初の4条機による高速畝立て播種を運用し、畝立てを高くすることで、雨天時の湿害も軽減している。

大型トラクター自動操舵システム、ドローンによる農薬散布など、スマート農業導入による省力化も図っている。



水稲の乾田直播作業

#### ②担い手の育成・確保

令和6年は従業員1名（48歳）を雇用し、令和7年は雇用就農資金を活用してハローワークを通じて雇用するなど、担い手を育成・確保している。

乾田直播栽培について3年前から県内外より年間5～6団体の視察の受入、地元で乾田直播栽培を始める生産者への栽培技術の指導依頼にも対応し、乾田直播栽培の普及にも貢献している。



大豆の高速畝立て播種作業

43

## (3) 高収益作物の導入による経営規模拡大、流通・販売の工夫と高付加価値化の取組

### 株式会社めぐいと

経営体の概要（令和7年度現在）

雇用：常勤10名、臨時雇用13名 経営面積：182ha  
主要作物：水稲97ha、大豆54ha、大麦32ha、加工用ばれいしょ14ha、ミニトマト1ha

取組のポイント

#### ①高収益作物の導入

水稲、大麦、大豆に加工用ばれいしょを組み込んだ3年ブロックローテーションを行っている。加工用ばれいしょは食品加工メーカーと契約栽培を結び、単収向上の目的で、有機質施肥を活用している。

令和6年度宮城県加工用ばれいしょ優良生産者として、宮城県知事賞を受賞している。



加工用ばれいしょの収穫

#### ②流通・販売の工夫と高付加価値化

JA系統出荷の他、直売所（東松島市のHarappa、石巻市のグリーンサムいちば）に出荷している。大麦は、契約栽培で一般社団法人東松島みらいとし機構（HOPE）に全量出荷し、ビール等に加工されている。令和7年産からは米の輸出にも取り組み、将来はアメリカへの本格的な輸出も視野に入れている。

航空自衛隊松島基地に近いことから、空飛ぶブルーインパルスの下で栽培されたササニシキを「青い衝撃米」（プライベートブランド）として、東松島あんでなしょっぷ「まちんど」や松島基地内売店などで販売している。



青い衝撃米（プライベートブランド）

44

## (4) 高収益作物の導入、スマート農業の推進、次世代を担う新たな担い手の育成・確保の取組

### 株式会社ぱるファーム大曲

経営体の概要（令和7年度現在）

雇用：常勤6名、臨時雇用13名 経営面積：77ha

主要作物：水稲68ha、大豆32ha、大麦19ha、たまねぎ2ha、ミニトマト1ha



施設栽培（スマート農業）

#### 取組のポイント

##### ①スマート農業の推進

大型農業機械の導入、ドローンによる防除や追肥、田植機やトラクターの自動操舵システムなどスマート農業の取組みに加え、大型鉄骨ハウスで環境制御・養液栽培システムを導入したミニトマトの施設栽培に取り組んでいる。温暖化対策による空調設備費や作業員（パート）への負担の増加により今年度は1作として、新たにニンニクやたまねぎの栽培に取り組んでいる。



収穫したたまねぎ

##### ②新たな担い手の育成・確保

スマート農業の推進により、省力化が図られたことにより、若手、女性の雇用を積極的に行っている。大型農業機械の若手女性オペレーターの育成・確保が計画的になされている点が評価され、令和4年1月に第51回日本農業賞集団組織の部で「優秀賞」を受賞している。

県普及センター等で開催されている地元高校生の職場視察（みやぎ農業未来塾）の受入に積極的に対応しており、農業への理解を深めてもらうとともに、新たな担い手の育成・確保にも努めている。現在2名の雇用確保（高校新卒）に繋がっている。



高校生の職場視察

45

## 12. 関係団体の意向

（基礎資料P〇～〇）

本事業の実施について、関係団体である宮城県、石巻市、東松島市、遠田郡涌谷町及び同郡美里町、河南矢本土改良区及び美里東部土地改良区から意見を聴取したところ、次のとおりであった。

### （1）宮城県

国営かんがい排水事業河南二期地区の再評価結果(案)については、特段の異議はない。

当地域の農業振興を図る上で、国営かんがい排水事業河南二期地区の実施は不可欠と考えており、これまでどおりコスト縮減に取り組むとともに、事業効果の早期発現のため、事業完了に向けて着実な事業執行に努められますようお願いする。

### （2）石巻市

本事業は、河南地区の農業生産の維持及び農業経営の安定を図る上で不可欠であり、引続きコスト縮減に努めながら着実に事業推進を図るよう要望する。

### （3）東松島市

本地区の基幹水利施設は、国営定川農業水利事業(昭和26年度～昭和45年度)、国営河南農業水利事業(昭和46年度～昭和56年度)により整備され、併せて関連事業により末端用排水施設の整備やほ場整備が実施され、生産性の向上並びに農業経営の近代化に大きく貢献してきた。これらの生産基盤の整備により、市内では水稲を中心とした営農

46

が展開されており、「環境保全米」の栽培、飼料用米等の新規需要米の生産拡大、水田の畑利用による「ねぎ」、「スイートコーン」等の高収益作物の栽培が進められ、大区画化・汎用化されたほ場では、ブロックローテーションによる水稻・麦・大豆の2年3作の営農体系が定着してきている。

また、東日本大震災後においては、経営規模が100ヘクタールを超える農業法人が設立されるなど、担い手への農地集積も着実に進んでおり、関係機関の連携の下、競争力のある農業の実現に取り組んでいる。本市を含めた事業地区関係市町村における担い手への農地集積率については、関連するほ場整備事業等により、宮城県の中で上位に位置しているが、令和元年の東日本台風では、収穫間際の大豆等が大きな被害を受けるなど、近年では基幹的な排水施設の機能低下と降雨形態の変化や畑利用の拡大により、農地の湛水被害が増加していることから、水田の畑利用による高収益作物の導入を一層推進するため、排水施設の改修が喫緊の課題となっている。

また、用水の安定供給に重要な役割を担ってきた基幹的な用水施設についても年々老朽化が進行しており、特に本地区の主水源である揚水機場の電気設備は耐用年数を超過し、老朽化が顕著であり、いつ壊れてポンプが停止してもおかしくない状況下で常に不安を抱えながら施設の管理を行っている。万一これらのポンプが停止した場合、他に水源がないため、本地区の営農に甚大な被害を及ぼす恐れがあることから、国営かんがい排水事業「河南二期地区」により、実施している施設の改修について、地元関係者は、早期完成による効果発現がなされることを熱望している。

このことから、本地区の農業競争力強化に向けて、基幹水利施設の改修と耐震化対策の計画的な進捗のための予算確保、事業の着実な推進を要望する。

47

#### （４）涌谷町

当町は、宮城県北部の遠田郡に位置しており、北は登米市、東は石巻市、南は美里町、西は大崎市に接している。

また、第一次産業の農業が中心であり、稲作のほか、小ねぎ、ほうれん草などの園芸栽培をしている。

人口減少や農業者の高齢化、地域の営農形態の多様化が進む中、より一層、農業経営の安定化が必須であることから引き続き、本事業による農業用水の安定供給及び維持管理費用の軽減を図っていただくとともに今後も着実に事業が推進するよう求める。

#### （５）美里町

本地区は、県内有数の水田農業地帯であり、大区画化された圃場での「環境保全米」や高収益作物の導入、農業法人への農地集積により競争力のある農業を推進している。しかし、近年は排水施設の機能低下や降雨形態の変化により、農地の湛水被害が増加しているほか、基幹的な用水施設の老朽化が進行し、営農継続への大きな不安要素となっている。農業競争力の強化と経営の安定を図るためにも、排水機能の強化や揚水機場の改修・耐震化を目的とした本事業が着実に推進されるよう、予算確保を含めた特段の配慮を要望する。

48

### (6) 河南矢本土地改良区

基幹揚排水機場、幹線用排水路及び水管理システムの改修による機能回復については地域農地における用水安定供給と湛水被害軽減に必要不可欠であり、併せて維持管理費及び労力の軽減に繋がるものと考えている。

以上から、本事業は地域農業の維持、向上と農業経営の安定に不可欠な事業であるため、引き続きコスト縮減に努めながら着実な事業の推進を要望する。

### (7) 美里東部土地改良区

本事業により関係施設を改修することは、基幹施設の機能が回復し、経営規模の拡大や、生産性の向上が図られ、やがては地域農業の発展に繋がると考えている。

今後も、創意工夫をしながらコスト縮減に努め、着実な事業推進を要望する。

## 13. 評価項目のまとめ

本事業は平成28年度に着工し、主要施設の整備が順次進められ、現時点における事業費ベースの進捗率は75.5%に達している。また、関連事業である県営ほ場整備事業（計16地区）の進捗率も約7割の進捗率となっている。

受益地域では、水稻を中心に、水田の畑利用による大豆、大麦等を組み合わせた農業経営が展開されている。農業経営体数や農業就業人口の減少といった動向は見られるものの、本事業や関連事業等を契機に、30ha以上の経営耕地面積が増加する動向が見られるなど経営規模拡大や農地の利用集積が進んでいる。これらを背景に、高収益作物導入やスマート農業の導入及び取組が積極的に推進されている。

また、本事業は、東日本大震災からの復興において、農業生産基盤の整備・機能強化を通じ、地域の主産業である第一次産業の復旧・復興に寄与しており、営農継続や担い手確保による地域コミュニティの維持、人口流出の最小化にも貢献している。

現時点において、事業計画の見直しが必要となる受益面積、事業目的別面積、主要工事計画及び総事業費の変動は認められないほか、事業の総便益が総費用を上回っていることを確認している。

関係団体からは、本事業が地域農業の維持・発展に不可欠であるとの支持が寄せられており、引き続き、コスト縮減に努めながら着実に事業を推進するよう要望されている。

以上から、地域農業の維持・発展や農業経営の安定といった効果の早期発現に向けて、関係団体と連携し、計画的な事業の推進に努めていく必要がある。